

(デイセンタ-3/8(金) おつかれさま会 大垣フォ ラムホテルにて -あゆみの家)

### カアみ

### No. 1 1 9号

万々に立ち寄っていただけるよう願っています。

められました。 ちの活動環境が一新され、さらには、緊急時における宿泊室も整備され このたびの全面改築では、建築費の補助金も得られ、工事も順調に進

# 新しいぐっどらんど建物の完成

が完成しました。 本年三月に昨年秋から工事中であった「ぐっどらんど」の新しい建物

つだいまえ」(大垣市船町)も、「ぐっどらんど」の"従たる事業所, となり の"従たる事業所;になりました。同年(二〇一二年)七月に開所した「と いるらんど」(大垣市長松町)は、新しい生活介護事業所「ぐっどらんど」 するとき、・分場,ではなく独立した事業所として再スタートしました。 後、二回の定員増(一六名、一九名)を経て、二〇二二(平成1 みの家」の"分場"として、大垣市綾野に定員一○名で始まりました。その Jの時、同じように「デイセンターあゆみの家」の"分場,であった「すま **깯設(通所更生施設)から新法事業(生活介護事業:定員|** で、快適に活動に取り組めるようになりました。 「ぐっどらんど」は、二〇〇〇(平成一二)年四月に「デイセンターあ **一〇名**) に移行 四)年の旧法

で、バリアフリーではなく、修理箇所も増え、日々の活動にも支障が目立 宮されてきたことになります。これら三箇所に共通することは建物の このように、「ぐっどらんど」は三つの事業所の集合体として七年間運 業所も中古物件を賃借することで開所されましたの

理 事 長 ф 橋 昇

実

ので、施設 えた。これらは、経営 四月一日付けで施 員にとっては、影響のない改革であった。 かし、当時から人手不足が危惧されていた 社会福 祉法人の制 利 用 者の直接 行されて、二年目を迎 組 度改革が一 織 処遇にあたる職 の見 直しである  $\overline{\bigcirc}$ 七 年

関

(上場 ない。これらの原因は何か。対策方法が無いのであろうか? ている。あゆみの家も、様々な手法を実施しているが、未だ満たされ のだが、それから二年経った現在は、さらに深刻な職員不足に陥 抗 は難しいと思う。福祉業界全体の給与が低いと云われるのには 輸 の低さが挙げられている。比較の元がはつきりしないが、例えば、年 業界だけを調査した資料を見てみると、ほぼ全ての施設に於いて、 がある。 材不足が感じられている。またその不足の原因の第一位は給 勤 続年数、地域性、比較する法人の規模と一般企業のランク 非上場、事 業規模など)と細かく分類しないと、正しい比 介護 抵 較 5

ば、 が適正な人件費率では無いかと判断している。この比率を高 れた人員配置を高めることにより、質の高い利用者への処遇 を余儀なくされると、法人経営が危うくなる。国 決して、現状を肯定するつもりは無いが、法人の収入の七〇%位 新たな、施設整備財源が無くなる事になり、整備時には、借 は、法令で定め めれ

> ったような事 法人独自で出来る事は大方、実施した状況であるので、宝くじに当 の議題には、必ず、人材確保の現状と対策結果が話し合われるが 界の給与安と言われる事も無くなると思う。毎月開催する理 施 出来るし、処遇改善費を大幅に引上げてもらえれば 態が無い限り厳 しい状況が続くと思う。 福 事会 祉 業

いる事を誇りに思う。 る。与えられた職務をプライドを持って地域社会に貢献してくれて なしていてくれている。職員に感謝しなければならないと思ってい 話題を変えると、昨年度整備した自由館に加え、二〇一九年三 わらず利用者に寄り添う仲間であり、同時に質の高い仕事をこ あゆみの家の現職員は、 、世間で言われる低賃金、きつい仕 事に

グループホーム「別庄ホーム」は、四月末の完成予定である。これら 月中頃には、竣工式が実施出来ると思う。また養老町 が完成し、利用を開始した。既設の撤去と外構工事が完了する五 月半ばに、ぐっどらんど、すまいるらんどを統合した「ぐっどらんど 一つは、国庫補助 を頂いた建物である に建設中の

り、県の許可待ちである。これが完成すると、職員や保護 への不便さも解消できる。 さらに、自由館南隣 地に駐車場と道路を整 備 する実 /施段 者会皆 階 さ あ

て下さるように、主なる神様に願っている。  $\mathcal{O}$ 改 現出来る事を望み、同時に、一日も早い 一
分後の整 が高 輸 備計画として考えている、既設GHや第二あゆみの家 化 や重度化に対応出来る様にする事 人材不足の解消 などの だ を 叶 計画 え

か

利

用

者の皆さんは世

話

人さんと相談

しながら、

## グループホームの防災

きずな2006 生活支援員 古川泰宏

長 ま ф ਰੁ 時 豪 昨 雨 間 年 九 等による豪 は 月の 停 大 電 阪 台風 や、 屋 や 北 では、きずな2006の 雨 海 災 根 道 0) 害も近 で大 破 損 き 年、 . 等 の: な 全 地 被 震 国各地で頻発 害 が グル に 見 舞 起 き、 プホ 台 わ 風 れ ま ムも や う い 集

くなってきてい 災 利 地 用 の様子を伝えるTV 者 0) 皆さんも、 います。 台 風で恐ろしい思 の報道から、 防 しし 災 をし  $\wedge$ (D た 意 経 識 が 験 高 や

た。 全 そのような中で今年 単 位 木  $\mathcal{O}$ 体 :制で実 !で行いました。サポートスタッフー名 ムの防災について、数多くの課題 施 したはずでしたが、その避 度 は、ナ 震 災 奵 応  $\mathcal{O}$ 避 が見つかりま 難 難訓 訓 ) を 配 練 練でグル を各 置 木

ま 隠 0スマー 場 流 した。地 れる際 所 れると、緊張してしまったり、焦ってしまいテーブルに と不安 を トフォンの防災アプリで 確 に頭をぶつけかけたり、転 域 認 になることもあ <u>の</u> すると「 時避 難 あ 所まで実際に歩き、 h りま なに 遠 訓 た。 くなの?とても歩 倒 練 しそうになったりし 用 O緊 広域避 急 地 震 難 速 け 所 な 報

> さい 解 車 するためにホー 決 が ました。 必 意 わ 策 ブル りに しよう」「避 要だよね を考えてくだ 0) 下 ル に メメッ ムに 隠 ے 難 れ

用者さんが主体となつ題も山積みですが、利も十分でなく、他の課まだまだ訓練回数



訓練風景。避難所まで歩く

域 難 者さん 練を見学していただきたいと考えています。ゆくゆくは 連携した防災 の方に協力と参加をお願 訓 練 が主体となって防災について考えることのできる を行って、次年度には地 計 画 に繋げていきたいと思います。 しし して、災害時に活きる、 域 の自 治 会の皆 様 にも 地

地

訓避

**今**後 を常 害 も 河 準 6のグループホームもスプリンクラーの設 が 域 改 に あり、市 E ]]] また、平成二七年に消 怯 . Įį に目指していきます。 0) 正されました。三年の猶予 は 増 応 えずに安心 水 水による浸 害 した整備 こと 連 時 0) 避 携 して暮らすことのできるグループホ を進 難 しながら、 水 訓 危 めています。大垣 練 防法における消 険地域 も 行 避 ってい 期 難計画 に指定されているホ 間 を経 き、 を作成してい 防設 利 て、きずな20 置 市、垂井 用者さん 等、新 備 等 町 た 0) が災 な では 基 ま ਰੋ 準 0 Д

き利

者

 $\mathcal{O}$ 

h

風

邪

 $\mathcal{O}$ 

皆大用

月 さ

\_ =

に行 を

わ

さ ん が

円

に

なって餅

つきが見

おを

餅か

た

だ

食

、るだけでは

なく、杵と臼

を使って

お

餅

を

0)

方が真

に杵を上

げる姿に声援を送ったりし

肩利はん

を用回者

者

さん

は

我

こそはと

積

極

「 お

が

重

-」と歓声がわき上が5たい杵を持って「よい

### な 餅 つ き 大 会

一あゆ 3  $\mathcal{O}$ 

> 生 活 支 援 員 || $\blacksquare$ 有

紀



「よいしょっ」と力を込めて!

つつーはた時できた。## 今みあ た 昨 り、 時 5 لے 年 き 期今 「虱邪が流います。一昨」 を行り を なって しし 期 年 が お お餅を食べるの別ということもと風邪が流行します。一昨年、 を やも あ 迎  $\supset$ いを W え、 ま食 24 ŧ レベ  $\mathcal{O}$ てお毎家 まで、 、行餅年で

こかけ一気に会場内に一体感が出てきまっている利用者さん、職員も一緒に「よい回してやる気に清まっし、 場内に一体感が出てきました。 がりました。 方もおらず しょつ」と豪 れま 的 パえる位 じた。 に 杵を 腕 置 年 持 快 つ 待ちに待 は 節に 5 餅他 しよー お に 準 自身のある か  $\mathcal{O}$ 備 利 げ つた とか 用 運 さ 餅 ま 者 動 にるにさ け て心ののは士と との が 音 様

で、 餅自 分 は まし ま た さ ん格 舌 別 鼓<sub>の</sub> き を 味あ う  $\mathcal{O}$ げ た ょ た う お

つた んで だくことがで お息様用 8米と混ぜ、 々 美味しくお こさん です。 しくお餅 で提供で提供 おの 病 も 餅食気 高 は事  $\mathcal{O}$ しし をいたいたの方にあ 特形 か ため、 に 5 態 窒も利

シロのし 下す。た 下で生活する仲間同士、す。それでも同じ屋根のを抱えている方もみえまし、高齢化や様々な障害し、利用者さんも多様化 っえている。 「「凡者 さんも多様」 「凡者 さんも多様」 な思 絆 C 響の き<sub>、</sub>体 を 感 いようなに ように、皆 います。今後 活 改 感 つきの じられ め を 行 を 7 感 る 様 む し た 。 事 杵 仲 じるこ 後もの んの日と日こ 間 を で同 通



ついたお餅をおいしくいただきました!

人ひとりにあった形態のお餅

ようにするにはどうすると良いのかをAさん自身が考え

会になりました。今までもAさんに対して、虫が食べ

んにとってビックリされた出来 事でしたが、アリが来ないさないように慎重に生活をされるようになりました。Aさ

## 利用者とのエピソード

居 宅 介 護•行 動 援 護 • 重 度 訪 問 介護 ル パー 事 業 足立 所 知

弘

でアリがきたんだろう?」とAさんはヘルパーに尋ねられ として利用者と関わった中で感じたことや、心があたた で生活を続けたい』『一人では不安な外出のお手伝 がどこにたくさん集まっていたのかを考えていただくと との答えが返ってきました。また、部屋に入ってきたアリ ました。Aさんにアリが好きな物を尋ねると「甘いもの」 を確認すると『アリ』でした。その日のうちに駆除剤を用 てヘルパーに助けを求められました。ヘルパーが虫の正 んの虫かわからない!」と、生き物が苦手なAさんは困 方です。ある日、Aさんから「虫がいっぱい部屋にいる!な 意され、アリは数日で姿を見せなくなりましたが、「なん かくなったエピソードをご紹 このことがあった日から、A さん自身が床に食べ物を落と 床に落ちた食べ物があるから』という結論になりました。 )てほしい』そんな思いに応えるサービスです。ヘルパー生活を続けたい』『一人では不安な外出のお手伝いを Α さんは家事援助を利用して一人暮らしをされ /\ | · は障 害を持たれている方の『住み 介します。 慣 れ た ている 地 体 っ 域

二』が同じ名前に聞こえたのだと気付くのに少し時 い物に行く途中、Bさんが側溝を流れる水の中に『カニ 出 出来事であったとともに、Bさんのことを愛お うな顔をしてヘルパーをみつめられた後に、カニを指 き、今いる場所から離れられるように「蚊に血を吸わ 子を見守っていましたが、蚊が寄ってきていることに気: くカニを眺める事に集中されました。ヘルパーはそのご を見つけられました。生き物が大好きなBさんは、しば に、経験することの大切さを再認識した出来事でした。 て!』と応援したくなる気持ちがこみ上げてきたとと 識として吸収され成長されているAさんを見て、『頑 策 きたことが堪えたようでした。ついつい良かれと思い 来ると良 にくるため食べ物が落ちて汚れたときは 言葉をしっかりと受け止めて下さっていることが伺 すると、理解され出発することが出来ました。ヘルパー かかりましたが、改めて別々の生き物であることをお伝 しまった。血を吸われないように出発 「同じ?」と尋ねられました。Bさんにとって『蚊に』と『カ 来事でした。 かけをBさんに行いました。するとBさんは、不思 だけを提示してしまいがちですが、経験したことを知 Bさんは行 いことをお伝えしていましたが、実際に 動援護を利用されています。ヘルパーと買 しよう」と、こん すぐに掃 しく感 アリ 除 えた れて 議 さ じ が 張 付  $\dot{o}$ 出 7

えています。よかったらホームページを見にきて下さい。 ムページの『つぶやき』で、ご紹介していけたらよいなと考(今後は、エピソードシリーズとして、あゆみの家のホー)

### ク ス ス 祝 会

デイセンター あゆ á 0) 生活 支 援 柚 原

知

明

9  $\mathcal{O}$ 普 家ま がとても大切にしている行事です。クリスマス祝 毎 用者さん・保 用者さん・保護者さんがデイセンターのホールに集まはあまり顔を合わせることのない、いろいろな事業所 年賑やかな会となります。 護者さんがデイセンターのホー 会は、

れた際にどの担当をやりたいか立候補していただきま作成など利用者さんの役割は様々で、実行委員会が開 や司会進行、ゲストの方の案内に、当日配布するチラシの実行委員に立候補した利用者の皆さんです。当日の受付 このクリスマス祝会を主となって作り上げてい く の は か

ほ

うか?当日、白いローブに身を包んだ皆さんとその歌声 とても素敵でしたね! か?当日、白ハコーブニョ・リッデューとうだったでしょうた。今年は初めての方もみえましたが、どうだったでしょり、今年は初めての方もみえましたが、どうだったの応募がありま ま 讃美 歌 を歌って頂く聖歌 隊 0) 募 集を今年 も 行 う

アンサンブルさんをお招きし、クリスマスソングの演 そして今年のゲストには、 して頂きました。 地 元 垂井のTSS垂 井ウイン 奏を

さん意見を出し チにエビフライ、からあげなどなど、どれも美味 みの昼食は利用者さんから何 て頂きその中から決まりました。サンドウ を食べたいか、 しそう

> なものば かり。ついつ しり お に盛りすぎて食べ過ぎて

> > ま

り上がりました。衣装や寸劇など年々凝ってきているの じますね。来年も楽しみです! 所 家と分けてそれぞれのクリスマス会を楽し てきたことを感じるユニークなものばかりで、とても の出し物では、それぞれの事業 からは場所 を第二あゆみの家、デイセンタ 所で考え、たくさん みま ਭੋਂ あ 各

習

くさんの方が関わり、クリスマス祝会を盛り上げていって の役割に責任をもたれていたことを感じました。来年もた という声もあがり、担当のスタッフも、利用 活き活きと自慢 しいと思います。 会の反省会では、皆さんそれぞれ自分が頑張ったことを 無 事 、にクリスマス祝会を終えて、最 気に話されました。「来年もやりたい!」 後 に開 者さんが自分 しし た 実 行

員



利用者聖歌隊の発表



〒503-2123

らんどの出し

### 出来事ピックアップ



**ぐっどらんど**(12/11) 綾里幼保園交流会



きずな(12/8) 忘年会



**デイセンターあゆみの家**(1/5) 新しい食堂で新年会



**林町デイセンター**(12/15) クリスマス祝会「ゲスト・劇団そらまめ」



**第二あゆみの家**(2/23) 観劇会



**林町デイセンター**(1/9) 書き初め

### 行事予定

4/6(土) 創立記念行事

4/19(金)~20(土)あゆみの家バザー

### 最近のできごと(12 /1 ~ 3/8)

12/8 (土) きずな2006 忘年会

12/10 (月) とうだいまえ喫茶外出

12/11 (火) 垂井東小学校交流

(デイセンターあゆみの家)

12/11 (火) 綾里幼保園交流会 (ぐっどらんど)

12/15 (土) クリスマス祝会 (林町デイセンター)

12/22 (土) クリスマス祝会

12/25 (火) クリスマス礼拝

1/5 (土)新年会(第二あゆみの家他)

1/12 (土)成人を祝う会&新春和太鼓演奏

(林町デイセンター)

1/16 (水) あいはら小学校交流会

(第二あゆみの家)

1/23 (水) 総合防災訓練

2/5 (火) いちご狩り(林町デイセンター)

2/5・2/6 2/8 喫茶外出(ぐっどらんど)

2/13 2/20 わくわくプログラム―イチゴ狩り (デイセンターあゆみの家)

2/17 (日) 在職者交流会(就労生活支援センター)

2/23 (土) 芸術鑑賞会 (第二あゆみの家)

2/27 (水) 福祉ネットワーク会議

(就労生活支援センター)

3/2 (土) おつかれさま会 (第二あゆみの家)

3/8 (金) おつかれさま会(デイセンターあゆみの家)

### ふれあい交流(12/1~2/28)

延べ:1回 60人

<学校名>

垂井東小学校

### ボランティア(12/1~2/28)

延べ:72回 87人

(団体: 43回 66人·個人: 29回 21人)

<ボランティア、学校名>※順不同 大垣友の会、養老町赤十字奉仕団、

大垣女子短期大学

### 共同募金 配分事業

今年1月、岐阜県 共同募金会より配 分を受け、「デイセ ンターあゆみの家」 で使用する車両を購 入することができま した。



### あゆみの家バザーのお知らせ

4月19日(金) 10:30~16:00 4月20日(土) 10:00~15:00

会 場 / 垂井町文化会館

ご家庭に眠っているまだまだ使える不用品 の献品もよろしくお願いいたします。

**編集後記** 平成が終わり新しい元号がまもなく発表されようとしています。平成の30年間、障害者の福祉は激 動の時代でした。措置制度から支援費制度、総合支援法と制度も大きく変わってきました。30年前から比べればサー ビスのメニューも量もずいぶん充実してきていると思います。以前は無かったショートステイ、ホームヘルプそしてグ ループホームと事業者も増えてきています。しかしながら重症心身障害者など重度の利用者へのサービスはまだまだ全 く足らない状況にあります。重度の利用者への対応は人手もより多く必要です。その人材が確保できないことが大きな 要因の一つです。この仕事はとてもやりがいがあり、重い障害のある利用者さんたちを通して喜びと感動を味わうこと ができる素晴らしい仕事だと思います。仕事を探しておられる方がありましたら、是非一度あゆみの家を紹介してくだ さい。いつでも見学はOKです。待ってます! (小林)

編集:社会福祉法人あゆみの家

URL http://www.mirai.ne.jp/~ayumi

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2 Tel0584-22-4333 代 FAX0584-22-4344

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

### グ ル ー プ ホ ー ム の ご 案 内

●あゆみホーム

●めぐみホーム ●東神田ホーム ●岩手ホーム

●養老公園ホーム

Tel 0584-82-3056

Tel 0584-22-3712

Tel 0584-22-2264

Tel 0584-22-3032 Tel 0584-34-3170

●青柳ホーム

●綾野ホーム

●表佐ホーム

●習南ホーム

●あいかわホーム

Tel 0584-89-6231

Tel 0584-92-2405

Tel 0584-23-3305

Tel 0584-22-5079 Tel 0584-23-0822